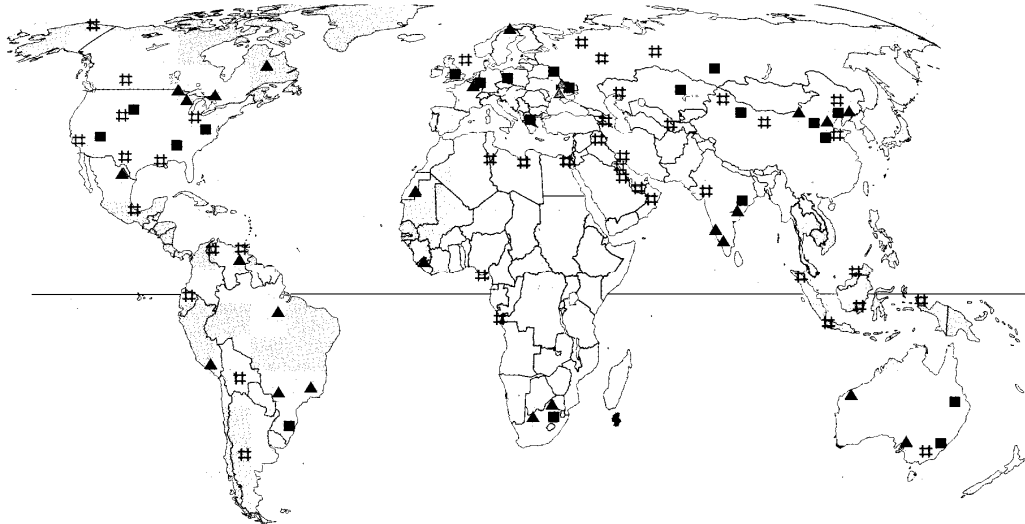


第 10 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.01
	産業			

[問題 1]

次の地図中の▲、■、#に適する鉱産資源を次の[]から1つずつ選びなさい。

[石油 石炭 鉄鉱石 銅]



[解答欄]

▲ : 鉄鉱石	■ : 石炭	# : 石油
---------	--------	--------

[解説]

[資源分布図 判断のポイント]

石油 : ペルシア湾沿岸
 石炭 : オーストラリア東部
 鉄鉱石 : オーストラリア西部



世界の石油埋蔵量の約半分は、ペルシヤ湾沿岸(アラブ首長国連邦の石油の積出港の位置)を中心とする西アジアに集中している。

また、石油の生産量・輸出量ともにペルシヤ湾沿岸の産油国が大きな割合を占めている。

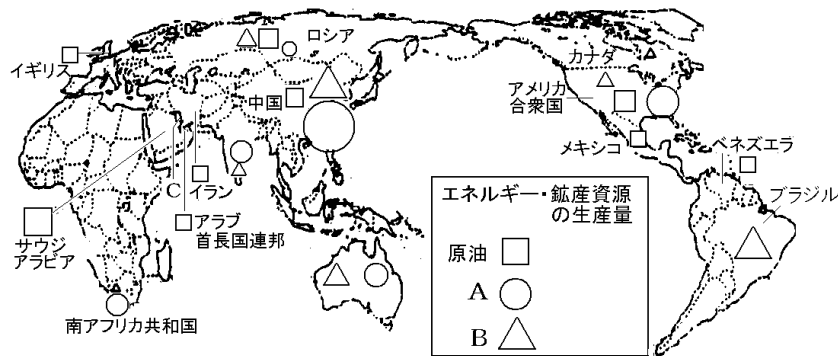
鉱産資源の種類を答えさせる問題では、まず、ペルシヤ湾沿岸に注目する。

ペルシヤ湾沿岸でとれる鉱産資源は石油である。石炭と鉄鉱石については、日本の石炭・鉄鉱石の輸入相手国第1位のオーストラリアに注目する。

オーストラリアの東部では石炭が、西部では鉄鉱石が産出されることから■が石炭、▲が鉄鉱石と判断できる。

[問題 2]

下の地図を見て、あとの問いに答えなさい。



(1) 地図中の A、B が示す資源名を次から選んで答えなさい。

〔鉄鉱石 ボーキサイト 石炭 ウラン〕

(2) 多くの石油が産出される、地図中の C の湾名を答えなさい。

[解答欄]

(1)A 石炭	B 鉄鉱石	(2) ペルシア湾
---------	-------	-----------

[解説]

〔生産量上位3か国〕

石油：ロシア・サウジアラビア・アメリカ

石炭：中国(50%)・アメリカ・インド

鉄鉱石：ブラジル・中国・オーストラリア

A は中国とアメリカの生産量が多いことから石炭と判断できる。石炭の生産量が多い国は、

1 位 中国(49.9%)、2 位 アメリカ(11.0%)、

3 位 インド(9.1%)、4 位 オーストラリア(5.6%)、5 位 南アフリカ共和国(5.2%) である(2006 年)。

B はブラジル、中国の産出量が多いことから鉄鉱石と判断できる。

鉄鉱石の生産量が多い国は、1 位 ブラジル(22.3%)、2 位 中国(22.2%)、3 位 オーストラリア(17.7%)

4 位 インド(11.0%)、5 位 ロシア(5.8%)である(2007 年)。

石油の生産量が多い国は、1 位 ロシア(14.1%)、2 位 サウジアラビア(11.2%)

3 位 アメリカ(7.6%)、4 位 イラン(5.4%)、5 位 中国(5.3%)である(2009 年)。

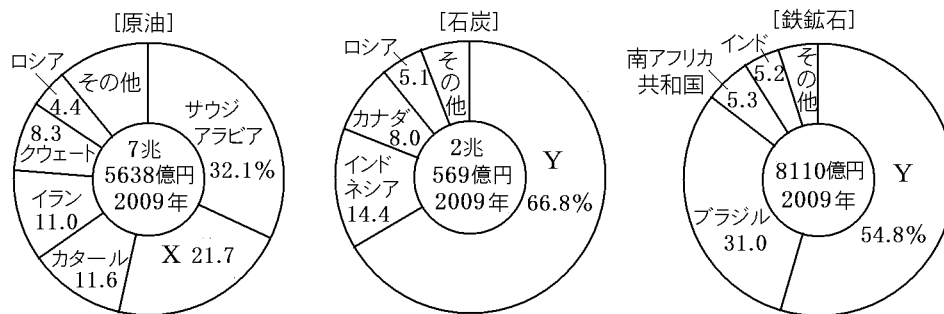
(統計出典)石油：「日本国勢図会 2010/2011」 P122、石炭：「日本国勢図会 2010/2011」 P117 鉄鉱石：「日本国勢図会 2010/2011」 P203

[問題 3]

グラフは、日本のおもなエネルギー・鉱産資源の輸入先をしめています。X と Y にあてはまる国名を次から選びなさい。

[オーストラリア ロシア ベネズエラ アラブ首長国連邦]

日本のエネルギー・鉱産資源の輸入先



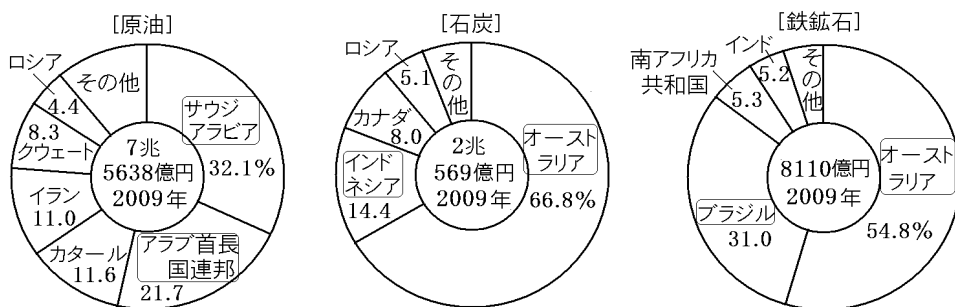
[解答欄]

X アラブ首長国連邦

Y オーストラリア

[解説]

日本のエネルギー・鉱産資源の輸入先



日本の石油輸入の約 8 割はペルシア湾沿岸の国々からである。その中でも多いのが、サウジアラビアとアラブ首長国連邦である。

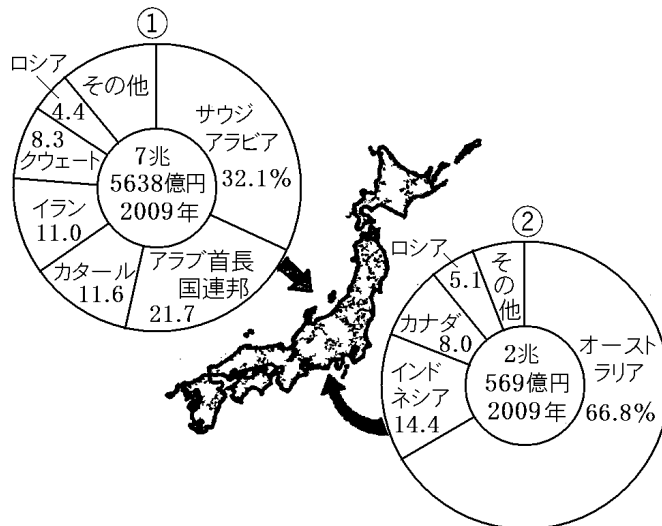
石炭と鉄鉱石は、ともにオーストラリアからの輸入が第 1 位である。鉄鉱石と石炭のグラフを見分けるポイントはブラジルである。ブラジルは鉄鉱石の生産量が世界 1 位であり、日本はオーストラリアに次いでブラジルから大量の鉄鉱石を輸入している。

鉄鉱石は 1 位オーストラリア・2 位ブラジル、石炭は 1 位オーストラリア・2 位インドネシア。

(統計出典)「日本国勢図会 2010/2011」P315・316

[問題 4]

次の地図を見て、各問いに答えなさい。



- (1) 日本の資源輸入を表した資料の①、②にあてはまる資源名を書きなさい。
- (2) 図①の資源は、アラブ首長国やサウジアラビア、イラク、イラン、クウェートなどがおもな産地である。これらの国が面している湾の名前を答えなさい。

[解答欄]

(1)①石油	②石炭	(2) ペルシア湾
--------	-----	-----------

[解説]

①はサウジアラビア・アラブ首長国連邦・イランなどペルシア湾沿岸の国が並んでいるので石油の輸入を表しているとすぐに判断できる。

②は、まず、オーストラリアが輸入先の1位であることに注目する。

オーストラリアが輸入先第1位でその割合が半分をこえるのは鉄鉱石と石炭である。(2009年統計「日本国勢図会 2010/2011」P316)

したがって、②は鉄鉱石か石炭のグラフであることがわかる。

そのいずれであるかは輸入先の第2位の国より判断できる。

鉄鉱石の第2位の国はブラジルで、石炭の第2位の国はインドネシアであるので、②は石炭のグラフであると判断できる。